

地域と学校の連携推進だより

つながる
オホーツク
ひとづくり・つながりづくり・地域づくり



第3号 令和6年3月8日発行（不定期）

発行：北海道教育庁オホーツク教育局

担当：教育支援課社会教育指導班

電話：0152-41-0759

Mail：takahashi.eriko@pref.hokkaido.lg.jp

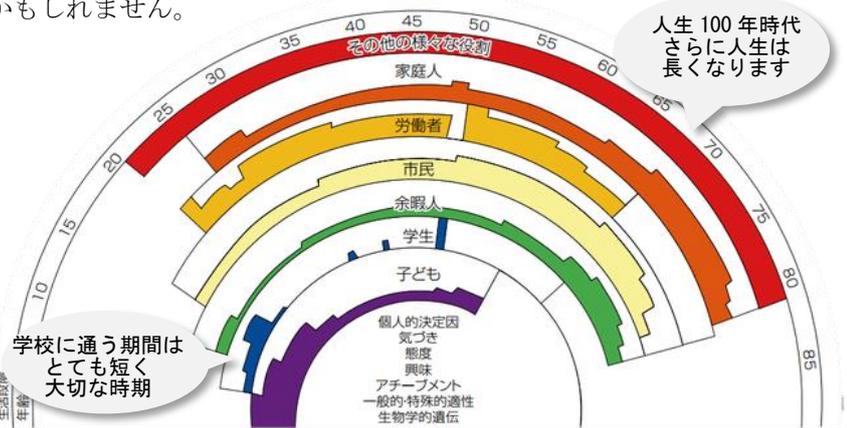
社会教育って何？ なぜ必要なの？

今号では、社会教育の必要性と学校教育と社会教育との連携についてお伝えします。

「教育」というと、学校をイメージする方が多いかもしれません。

右図は、81歳で生涯を終えたある男性のライフキャリア（生涯にわたり果たす役割や経験の積み重ね）を示しています。グラフからは、人生の中で学校に通う期間はわずかであること、年齢に応じて仕事だけではない、多様な役割を担うことがわかります。**急激に変化する社会の中で、これらの役割を担うために必要な全てを学校で学ぶことができないのは明らかです。**

そのような中で、社会教育はあらゆる機会にあらゆる場所で生涯学び続ける環境をつくっていきます。また、子どもたちに学校では学べない経験やつながりを提供することも役割のひとつです。



出典：D.E. スーパー「ライフキャリアの虹」／文部省中学校・高等学校進路指導資料第1分冊

生涯学習はよく聞くけれど、社会教育との違いは？

社会教育と生涯学習は、似て非なるものです。「教育」は意図的・計画的に働きかける行為で、学ぶ側からとらえた「学習」とは異なります。そして社会教育は、学校の教育課程で行う教育と家庭で保護者から子どもに対して行われる教育以外の、すべての教育活動を指します。社会教育で学校や家庭と関わるものには、子どもたちの放課後の教育活動、家庭教育を行う保護者に向けた教育があります。（例えば、PTAは日本最大の社会教育関係団体です）

生涯学習「学ぶ者」からみた概念



教育による学習 「教える者」と「学ぶ者」による行為

学校教育による学習
幼・小・中・高・大等
(教育課程内)

家庭教育による学習
保護者から子どもへ

社会教育による学習

自己学習 「学ぶ者」のみによる行為



学校教育のことに、なぜ社会教育がかかわってくるの？

現在、学校教育では地域と連携・協働した取組が進められています（地学協働）。学校と地域の協働体制を維持するために、各学校ではコミュニティ・スクールの導入が進んでいます。社会教育の中でも**未来を担う子どものために行われている多様な活動（地域学校協働活動）と学校教育がお互いの目的を共有し連携できれば、子どもたちの学びの充実だけではなく、教育に関わった方々の、人づくり、つながりづくりとなり、地域づくりに発展していきます。**

さらに、子どもたちは地域の方々から学んだ経験から、学校卒業後には社会教育活動に積極的に関わり、人生100年時代に「生涯学習社会の実現」に向けた好循環を生み出していくことが期待できます。

まずはこの便りを読む皆さんが、各自治体の広報やチラシに掲載されている社会教育事業（行政だけではなく、社会教育団体主催のものもあります）に参加してみませんか？自分の興味のあるもので構いません。皆さん自身が、新たな学びや経験を得られるだけではなく、普段接することがない地域の人とのつながりができ、新たな居場所が見つかるきっかけになるかもしれません。オホーツク管内は、道内でも有数の社会教育活動が活発な地域です♪